

大きい利幅を狙える！ ダマシを活かした画期的トレード 手法

笹田 喬志

利益率の高いトレードについて

利益率の高いトレードはメリットが大きいです

- ・一撃で資金が大きく増える
- ・次勝たないといけないという精神状態から解放される

そのためによくリスクリワードの良いトレードをしましょう、と世間一般では言われますが、実際のところリスクリワードの良いトレードは難しいです

何故かという、目標値まで到達することが非常に困難

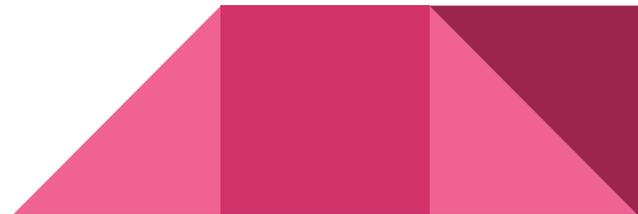
勝率が悪いというデメリットがある



目標値が近いと勝率は高くなるけれど、それだと常に勝ち続けないといけない精神状態でトレードをすることになる

ここを共存させようとして、勝率がある程度高くて、利益率もそこそこあるというところを取りに行くのもいいけれど、やはり取れるところは大きく取っていきたい！

そんな手法になります



チャートパターンを取り入れる

いくら勝率が低いといっても、勝率が低いことを前提に取り組むのは流石に辛い
なのである程度勝率も確保できそうな場面でトレードをすることが重要です
そのためにはチャートパターンを組み込むと良いと考えています

まずはダマシを使ったものより前に、ステップアップとしてチャートパターンを
使ったトレードで、PCに張り付く必要がないため、忙しい人でも実践しやすく、
しかも勝率・利益率がそれなりにあるルールを紹介します

忙しい人向け利益率が高いトレード

チャートパターンとダウ理論、サポレジを使ったトレード方法になります

チャートパターンが出るとネックラインをブレイクした側に相場が動きやすいという性質がありますが、チャートパターンが有効に機能するためには環境認識を加えることが重要です

アップトレンド時の押し目でフラッグやダブルボトムが形成されている、その場でサポレジ転換しているとトレンドが継続していく可能性が高いです

そういう場面を狙います



トレードルール

- ・ 環境認識

トレンド判断・・・ダウ理論

サポレジ判断・・・水平線

トレンド継続時にトレンド継続のチャートパターンが出るのを確認

チャートパターンがサポレジ転換で支えられていると良い



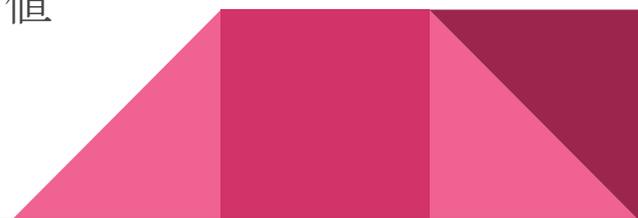
- ・ エントリールール

ネックラインブレイク後の押し戻り位置をフィボナッチで予測して指値エントリー

- ・ 決済ルール

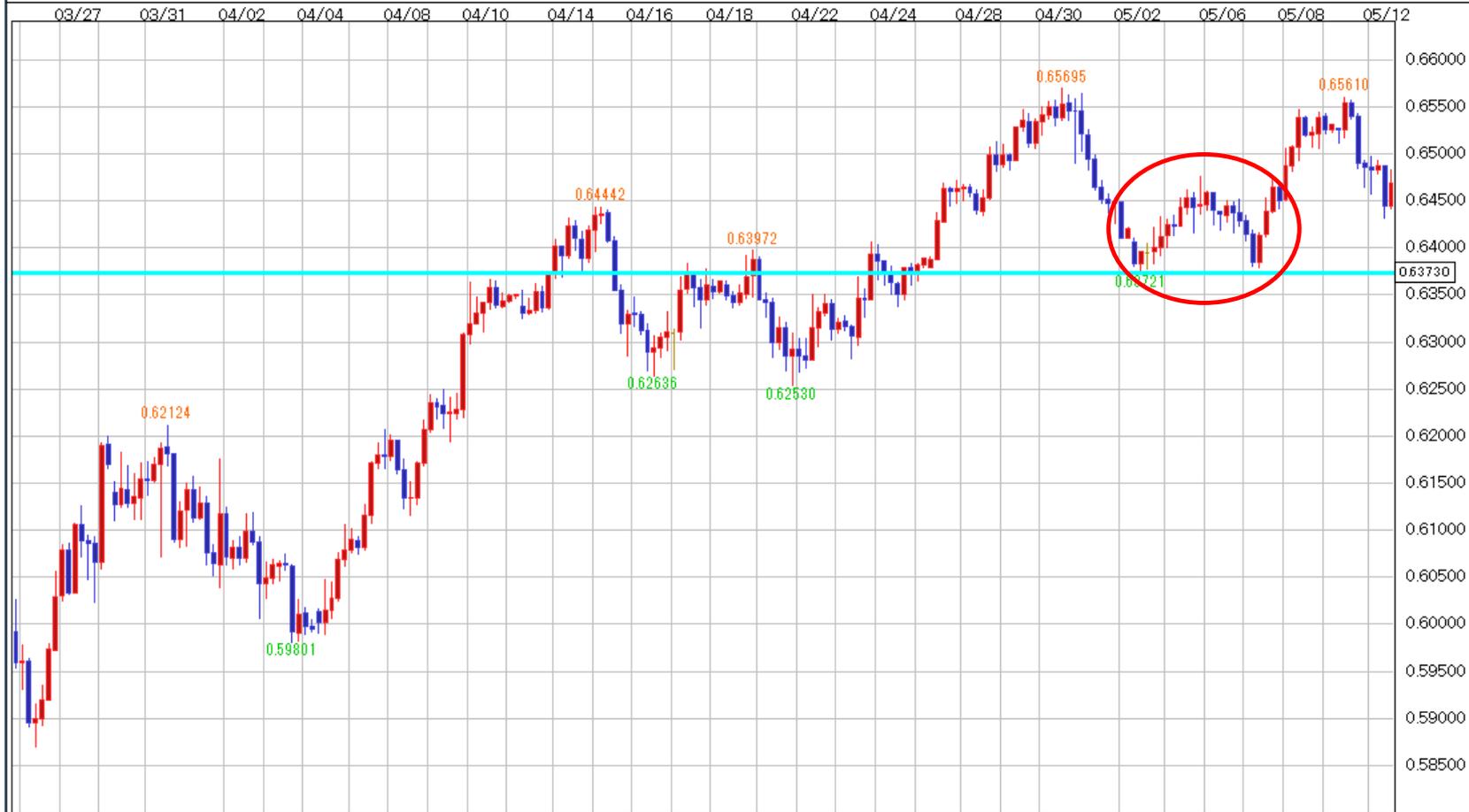
損切り・・・買いなら1つ前の安値、売りなら1つ前の高値

ターゲット・・・フィボナッチの-61.8で指値

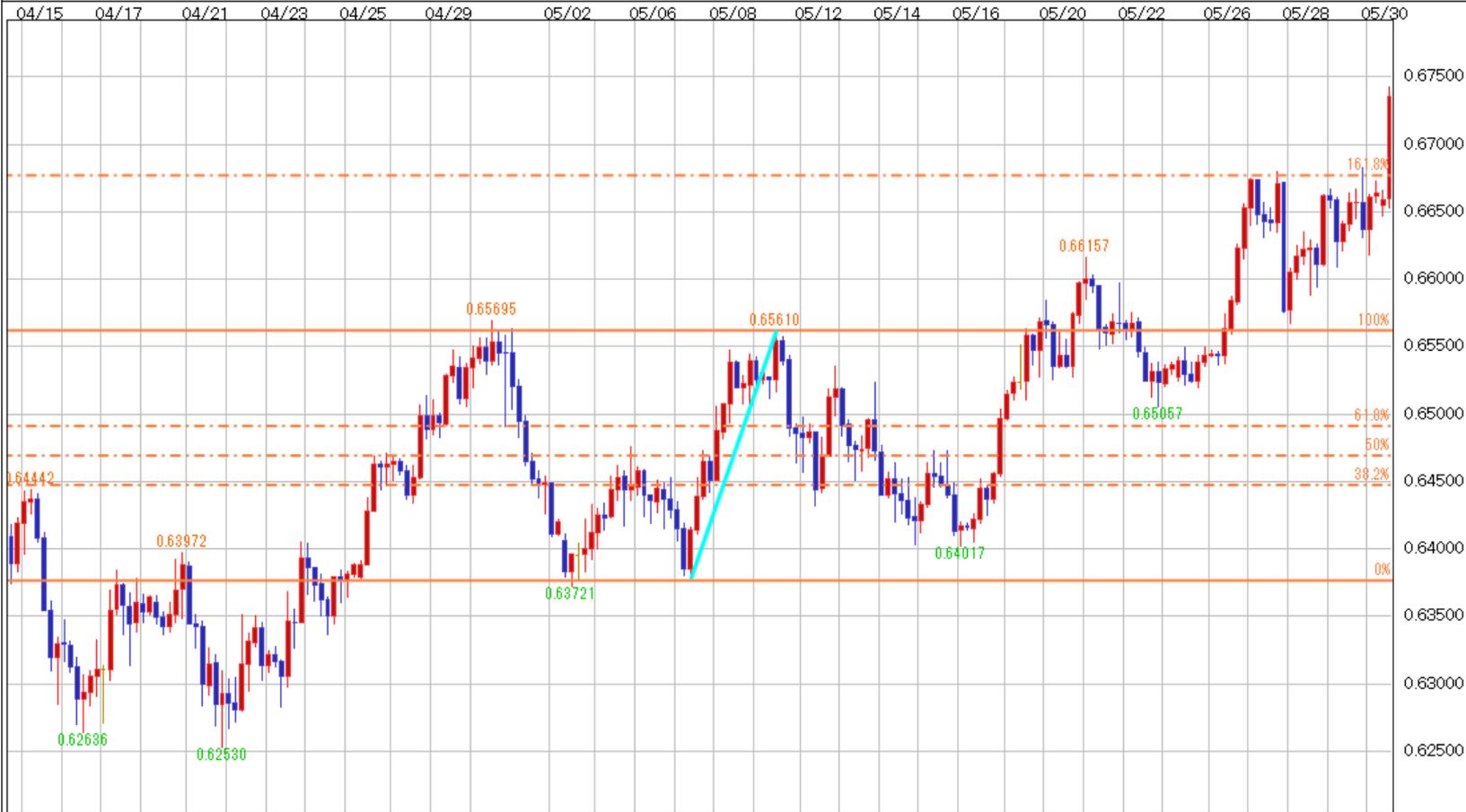


AUD/USD 4時間足 ローソク(BID) / / 検索

2020/06/23 08:00 始値:0.69231 高値:0.69344 安値:0.69174 終値:0.69333

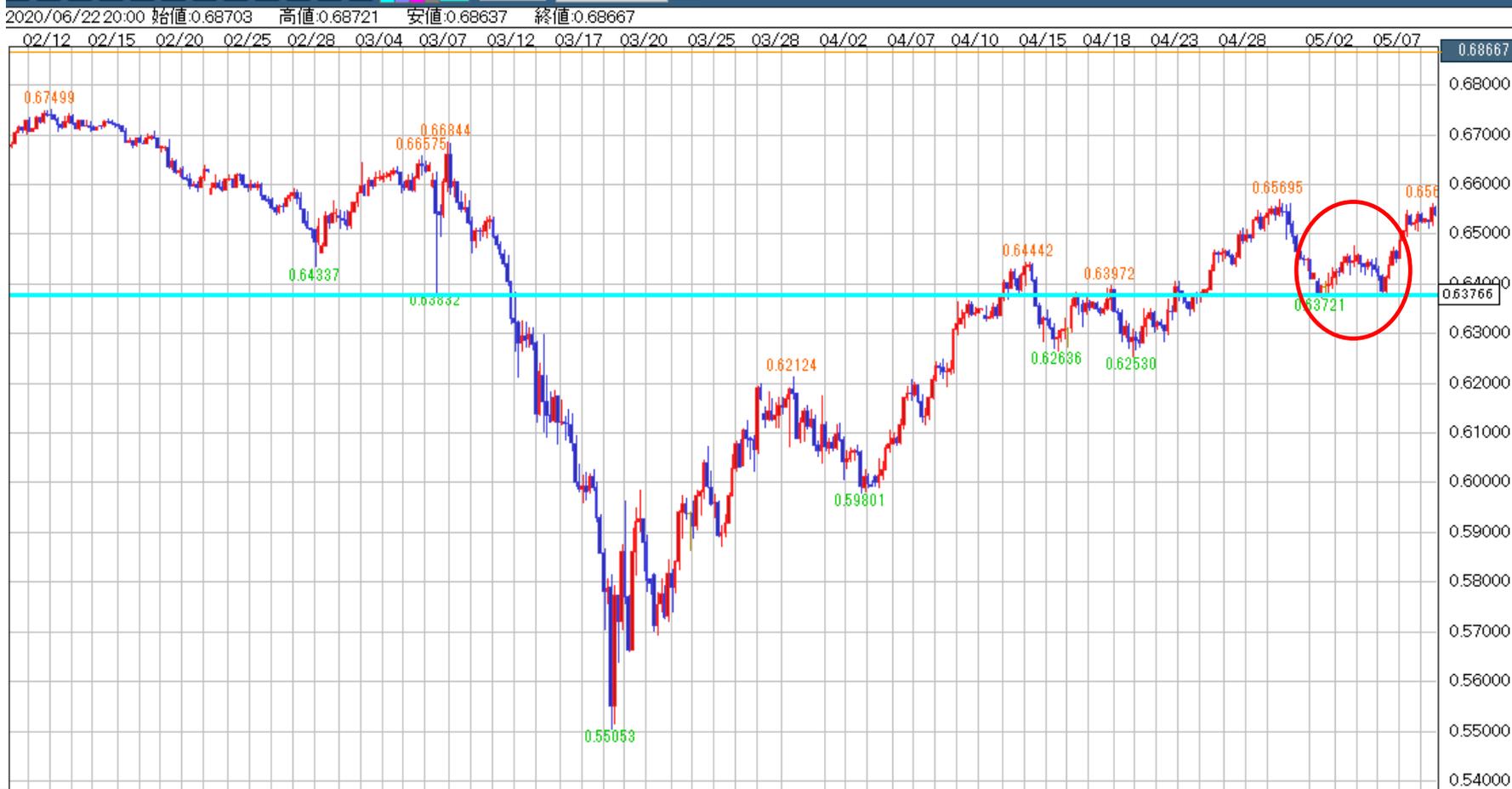


2020/06/23 08:00 始値:0.69231 高値:0.69348 安値:0.69174 終値:0.69318



AUD/USD 4時間足 ローソク(BID) 検索

2020/06/22 20:00 始値:0.68703 高値:0.68721 安値:0.68637 終値:0.68667



2020/06/23 08:00 始値:0.69231 高値:0.69348 安値:0.69174 終値:0.69258

02/29 03/05 03/10 03/13 03/18 03/21 03/26 03/31 04/03 04/08 04/11 04/16 04/21 04/24 04/29 05/02 05/07 05/12 05/15 05/20 05/23 05/28 06/02 06/05



メリット

- ・ 単一時間足で完結、指値逆指値で完結するのでPCに張り付かなくていい
- ・ リスクリワードも良く、勝率も確保できる
- ・ ダマシを回避できる

デメリット

- ・ チャンスが少ない



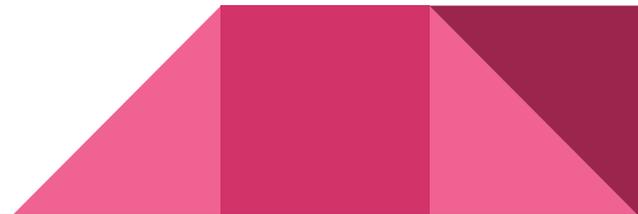
このトレードの考え方

ダウ理論の基本概念にある、「トレンドは明確な反転サインが出るまで継続する」という部分、これを当てはめたもの

トレンドが継続してターゲットまでいく確率が高いなら、あとは損切りにかからずに相場が戻れば戻るほど利益率が高くなる

戻りを見てエントリーするのもいいかもしれないけれど、見ないほうが精神的なストレスも感じにくいので楽

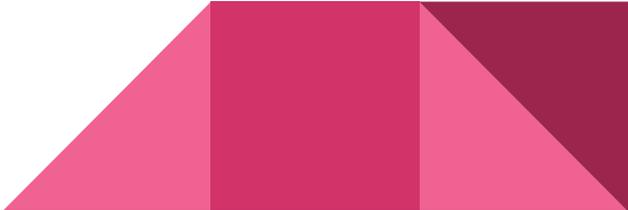
そもそもチャートをあまり見れない人にとっては好都合



忙しい人に向けてというので紹介はしていますが、チャートを常に見れる人でも使ってみると良いかもしれない

損切りに合ってから思った方向にいつてしまうという経験をしている方には良いルールではないでしょうか

ちなみにトレンドが続くと判断できるならチャートパターンを入れなくても良い
反転時のチャートパターンにも有効

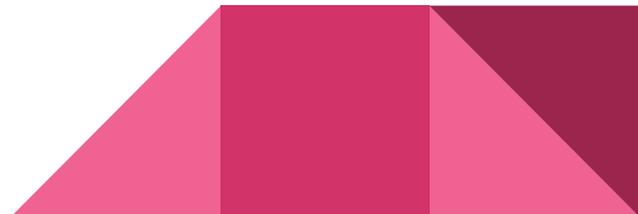


ダマシを使ったトレードの紹介

高利益率の手法になります

より感覚的な部分も必要となるので難易度は高い

その分勝率が下がるので、頻繁にトレードをして負けが続くと精神的にしんどくなるため、どの場面でも狙うというのではなくて良いところだけ狙っていくので使っています



- ・ 環境認識

トレンド判断・・・ダウ理論の転換狙い

サポレジ判断・・・水平線を主体

補助・・・ダイバージェンスが出現の可能性、チャートパターン出現の可能性

相場が伸びきっていること



- ・ エントリートリガー

プライスアクション確定後の高値安値ブレイク

- ・ 決済ルール

損切り・・・プライスアクションの高値安値の外

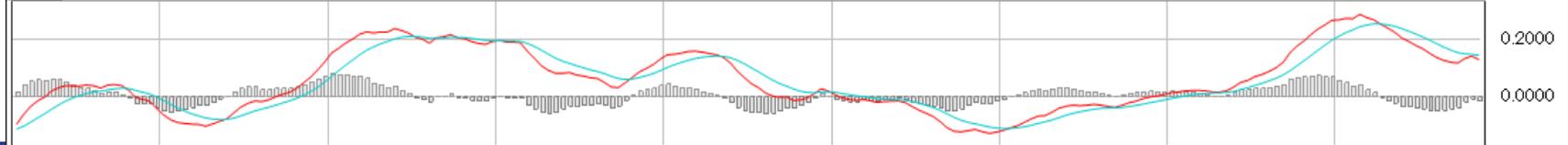
ターゲット・・・フィボナッチの**38.2%**を基本



2020/06/23 09:00 始値:0.69290 高値:0.69310 安値:0.69281 終値:0.69292



MACD: MACD[12-26]0.1667 シグナル[9]0.1408 乖離率0.0259

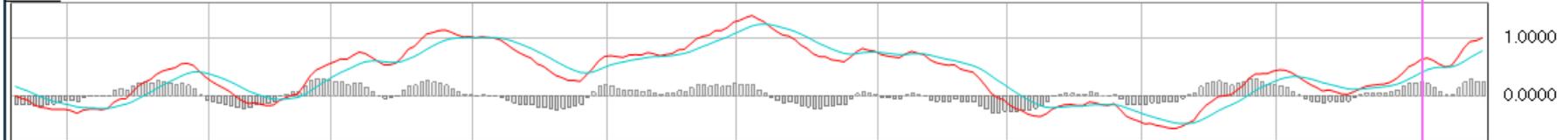


EUR/USD 日足 ローソク(BID) / / 検索

2020/06/22 始値:1.11793 高値:1.12265 安値:1.11682 終値:1.12090



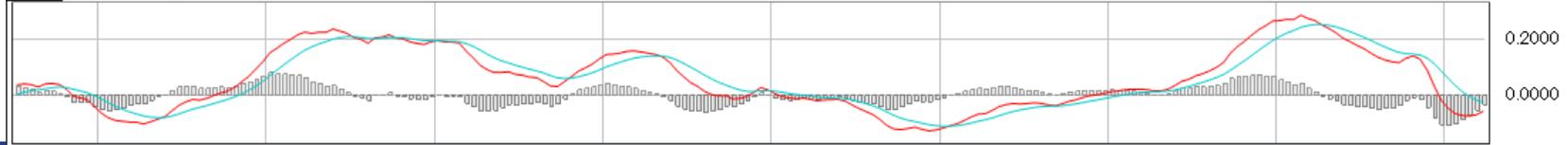
MACD: MACD[12-26]0.6796 シグナル[9]0.8764 乖離-0.1968



2020/06/23 09:00 始値:0.69290 高値:0.69310 安値:0.69280 終値:0.69286



MACD: MACD[12-26]0.1662 シグナル[9]0.1407 乖離率0.0256



考え方として

このトレードの重要ポイントとしてはダマシを使っているところです

トレードをしていて、ダマシを食らってから狙っていた方向に相場が動いていくということありませんか？

ダマシをきっかけにして相場が強く動き出すというのはよくあることです

では、なぜダマシが発生するのでしょうか？



ダマシが出来る理由

ダマシは**個人トレーダーの資金を大口が刈り取る動き**と考えています

相場は相対取引によって成り立っています

買い手がいることで売り手がいて相場は成り立っている、その比重が大きいほうに相場は傾いて動いていく

大口が大きな資金を入れるためにはそれだけの反対売買注文が必要になってくる

高値を超えたら素人はまだ上がっていくのかなと思って買いを入れる

そこに大口が売りを浴びせてくる

相場の全体像が見える時間足で判断

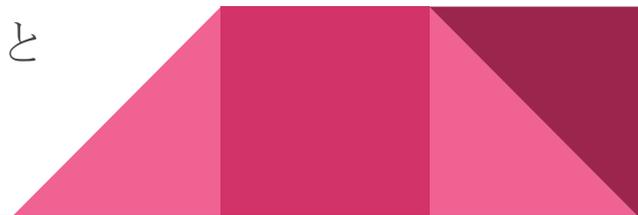
相場の反転を見るときは、全体像が見える時間足で判断するのが重要

①どの安値からトレンドが始まり

②どの高値でトレンドが終わろうとしているのか

この2つが見える時間足で判断すること

反転時によくあるミスとして時間足を小さくしすぎることに



- ・相場全体の流れから現在の位置がよくわからない
- ・最初の高値でトレンドが終了したようにも見える

大体ですが、底値圏と天井圏のサイズが似通ることが多いので、全体像が見えると天井圏のサイズ感も判断しやすい

必ず相場の反転時は全体像が見える時間足を基本に判断すること



相場の角度にも注目

トレンド時は相場の角度が段々きつくなっていく

トレンド終了に向けて、上昇時は高値更新の角度、下落時は安値更新の角度がこれまでの角度に対して緩やかになる

トレンドが継続する力が弱まっている可能性がある



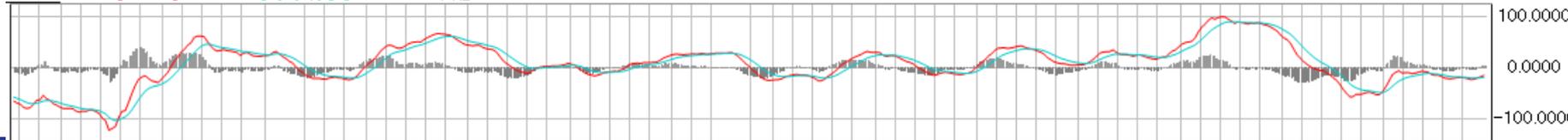
反転の可能性がある

そこに大きい時間足のサポレジがあると反転が起こりやすい

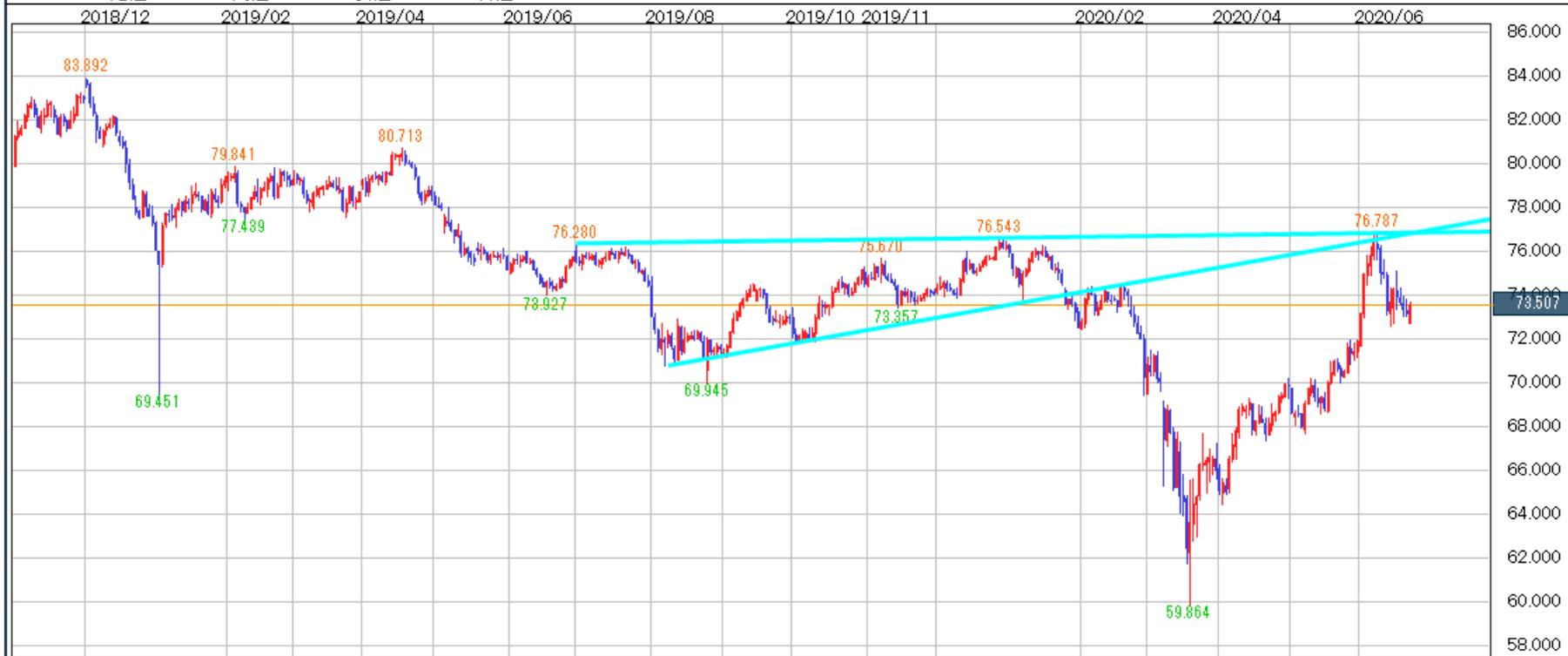
2020/06/22 20:00 始値:73.439 高値:73.507 安値:73.365 終値:73.502



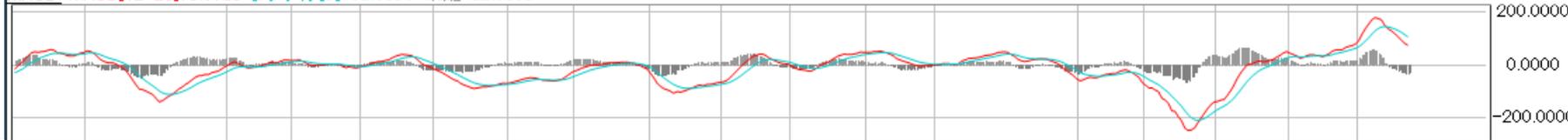
MACD: MACD[12-26]-13.8369 シグナル[9]-17.7103 乖離率3.8734



2020/06/22 始値:72.675 高値:73.712 安値:72.675 終値:73.507



MACD: MACD[12-26]75.0785 シグナル[9]108.0690 乖離-32.9905

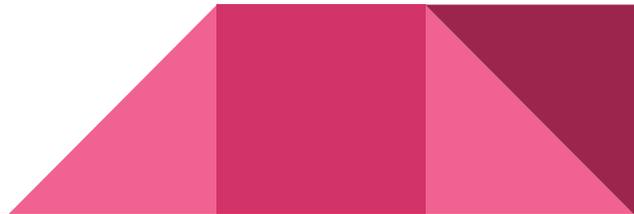


応用編：ウォルフ波動

ウォルフ波動は反転を判断するのに使える波動理論になります

一般的に**5波**を形成した後にトレンドが発生するのがウォルフ波動で、ウェッジなどが当てはまります

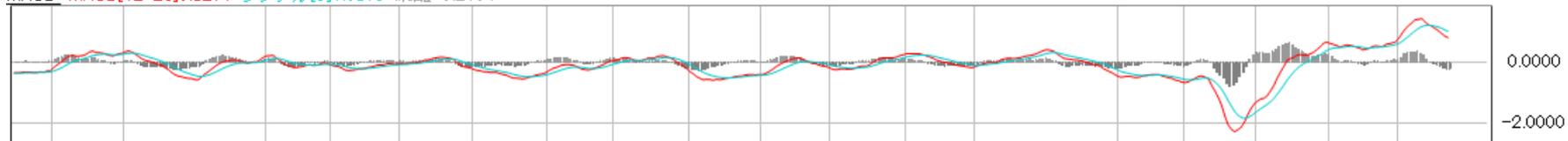
ただ、個人的には**7波目**を形成してからの反転がかなり精度が高いので、チャンスは少ないですが、出現したら好んでトレードをしています



2020/06/22 始値:0.68073 高値:0.68937 安値:0.68073 終値:0.68770



MACD: MACD[12-26]0.8271 シグナル[9]1.0375 乖離値-0.2104



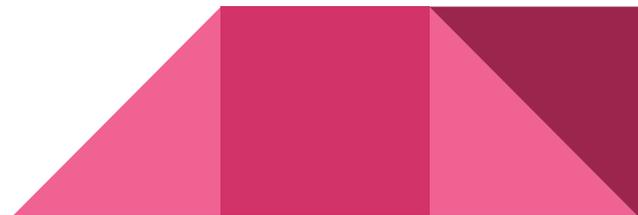
2020/06/22 21:00 始値:0.68789 高値:0.68793 安値:0.68786 終値:0.68793



相場が行き過ぎているような状態では反転が起こりやすくなる

そこにサポレジがあって、反転する要素があると天底からトレードをしていけるチャンスになってくるので、そこを判断して狙っていく

使えそうなところあれば、ぜひトレードにご活用ください



<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562